



第一回 鈴木商店シンポジウム 鈴木商店の再評価に向けて

日比谷図書文化館

2015年5月29日 鈴木商店記念館



開会のご挨拶

鈴木商店記念館編集委員長

太陽鋳工株式会社 顧問

金野 和夫



本日参加者（約120名）のご紹介 ～鈴木商店年表とともに



鈴木商店記念館編集委員
双日総合研究所
主任研究員
小林 正幸

■ 参加者ご紹介～鈴木商店年表とともに

1874年 鈴木商店神戸に創業

1886年 金子直吉土佐から鈴木商店へ

1894年 日清戦争勃発
鈴木岩治郎急死。鈴木よねが柳田富士松と金子直吉に経営を委ねる

鈴木商店台湾進出、後藤新平との知遇を得る。後藤回漕店の支援

1900年 台湾樟脳販売権獲得、樟脳事業化
(現・日本精化、日本香料薬品工業)

本日の参加者・企業

・鈴木、金子、柳田
家縁者

・高知県庁、
・神戸居留地研究会

・後藤回漕店
・鈴木商店台北店
平高店長縁者
・日比谷図書文化館
(内田嘉吉文庫)
・日本香料薬品

■ 参加者ご紹介～鈴木商店年表とともに

1903年 ・神戸に鈴木薄荷設立
・北九州大里に大里製糖所設立
金子直吉、渋沢栄一との対決

1904年 日露戦争勃発

1905年 小林製鋼所を神戸製鋼所に改称



・鈴木薄荷

・渋沢栄一記念財団

・門司麦酒煉瓦館

・前田組縁者

・池田興業

・リバー不動産

・北九州イノベーションギャラリー

・神戸製鋼所

■ 参加者ご紹介～鈴木商店年表とともに

1914年～・第一次世界大戦勃発

「一大投機」

・帝国麦酒(現・サッポロビール)

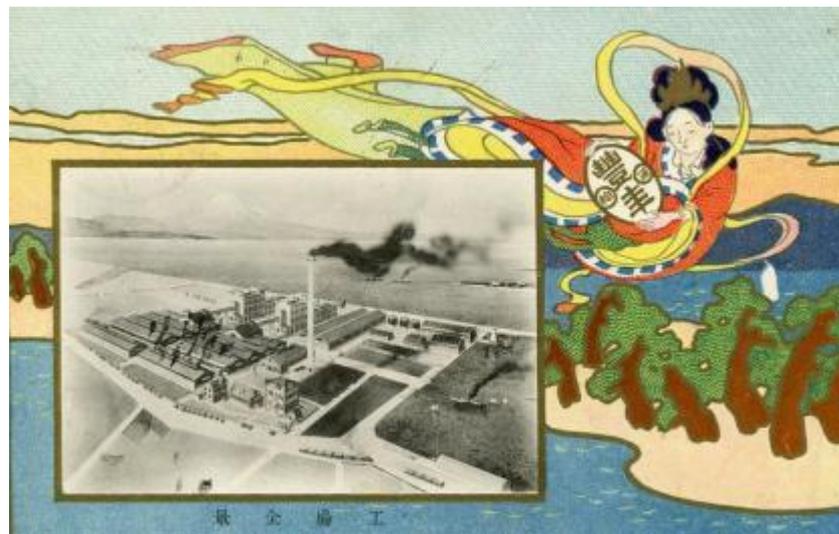
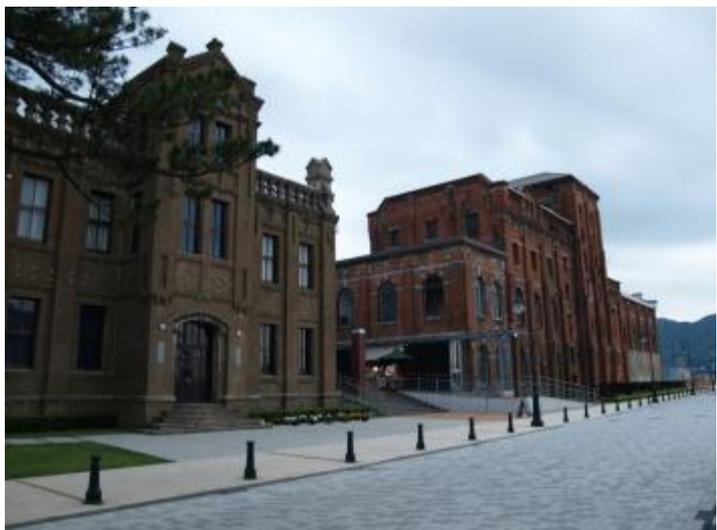
・大里酒精製造所

(現・ニッカウヰスキー)設立

・大連油紡譲渡、豊年製油

(現・J-オイルミルズ)設立へ

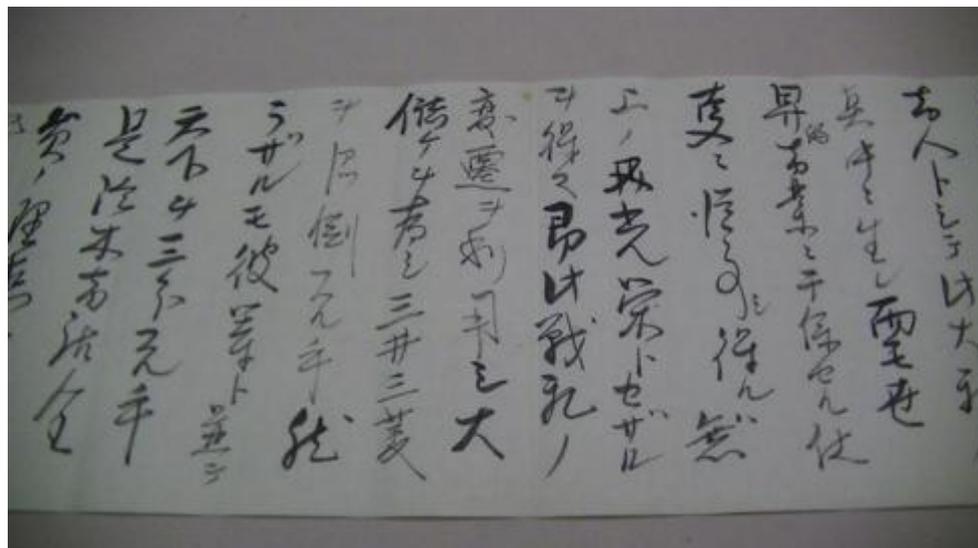
・サッポロホール
ディングス、
・ニッカウヰスキー



■ 参加者ご紹介～鈴木商店年表とともに

- 1916年～
- ・後藤回漕店よりみかどホテルを譲り受け、鈴木商店本店に
 - ・天下三分の宣言書、日本一の総合商社に
 - ・播磨造船所買収(現・IHI、JMUアムテック)設立

- ・JMUアムテック
- ・相生いきいきねっと



■ 参加者ご紹介～鈴木商店年表とともに

1917年 鈴木よねの寄付により神戸
女子商業(現・神港高校)設立

1918年

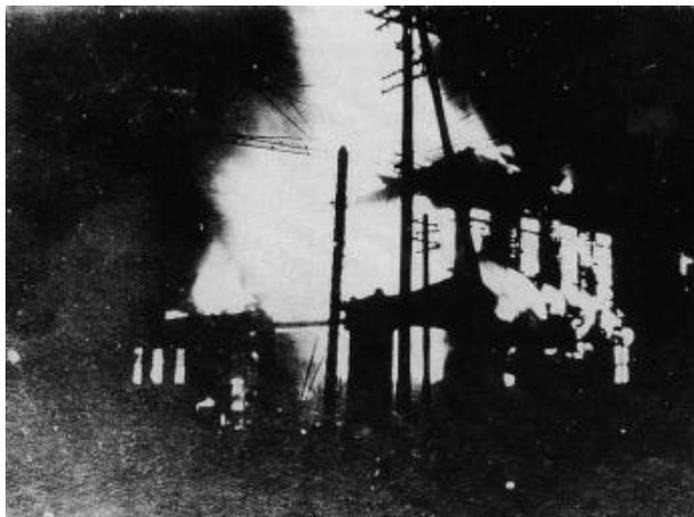
- ・日米船鉄交換契約
- ・第一次世界大戦終結
- ・米騒動、本店焼き打ち事件
大本組、鈴木よねを護衛
- ・帝国人造絹糸(現・帝人)設立

・神戸神港高校

・大本組

・帝人

・米沢工業会



「百松魂」
画・本宮ひろ志



■ 参加者ご紹介～鈴木商店年表とともに

- 1918年～
- ・帝国石油(現・昭和シェル石油)設立
 - ・太陽曹達(現・太陽鋳工)設立
 - ・日本冶金(現・東邦金属)設立
 - ・北海道羽幌炭砒権益取得

- ・昭和シェル石油
- ・太陽鋳工
- ・羽幌町
- ・羽幌炭砒遺産ファンクラブ



■ 参加者ご紹介～鈴木商店年表とともに

- 1919年～
- ・帝国汽船(現・商船三井)
 - ・スタンダード油脂(現・日油)設立
- 1923年～
- ・関東大震災
 - ・クロード式窒素工業(現・下関三井化学)、山陽電気軌道(現・サンデン交通)設立
- 1927年
- ・鈴木商店破綻



- ・日油
- ・クロード式窒素工業創業時支配人縁者

- ・東京大学
- ・明治大学
- ・埼玉大学
- ・高千穂商科大学
- ・熊本県立大学

- ・日本貿易会
- ・米欧亜覧の会
- ・J-HERITAGE

■ 参加者ご紹介～鈴木商店年表とともに

1928年～ 高畑・永井ら日商(現・双日)
設立。太陽曹達
(現・太陽鋳工)を軸に金子
直吉再起へ

鈴木OBが広撚、共栄、
日高エンタープライズ、
日本発条を創業

1938年 鈴木よね永眠

1940年 太陽産業羽幌炭砒開杭

1944年 金子直吉永眠

- ・広撚
- ・共栄

- ・ピッコロ劇団他

- ・辰巳会関係者

- ・報道関係者



鈴木商店記念館活動報告

鈴木商店記念館
編集副委員長
小宮 由次

■ 来館者数30万人突破

● 来館者数 30万人突破

● 協賛企業 2014年4月1日時点 22社



その後、新たに協力企業7社が協賛

江戸金、サンデン交通、池田興業
後藤回漕店、共栄、日高エンター
プライズ、三輪運輸工業

2015年5月末時点 29社



■メディアも注目、鈴木商店再評価の動き

- 日本経済新聞、読売新聞、神戸新聞社、高知新聞、北海道新聞、羽幌タイムス他
- 兵庫県広報誌にて鈴木商店が紹介される
- 兵庫県歴史副読本に鈴木商店が紹介
- 読売テレビ「お家さん」 最高視聴率
当記念館とも連携



■ 新たな輪の広がり

- 資料(お宝)提供の申し入れが多数、縁者・関係者からの問い合わせも多数
- これまで約200件の問い合わせあり
- 鈴木商店記念館編集者・協力者にて北九州・下関、神戸等を訪問。鈴木商店愛好家の輪を広める。
- 人の輪を大切に → 本日のシンポジウム開催へ



鈴木商店記念館の今後の活動

■ 今後の活動について

● 本シンポジウムにて今後の方針を議論、具体化

案① 神戸にて鈴木商店モニュメントを設置
(神戸市、地元市民との協議を開始)

② 神戸大学と連携、鈴木商店に関する委託研究
神大をハブに「鈴木商店研究会」を立ち上げ
→ 全国の研究者に拡大

⇒ 記念館の活動を学術的観点から支援する

■ 今後の活動について

③ 各地域におけるイベントの支援

- 羽幌炭砒閉山45周年記念イベント(15年9月末決定)
- 相生、鈴木商店進出100年 相生市歴史民俗資料館にて写真館の開催(15年秋) (松本さん構想)
- 高知、金子直吉没150年? (西森さん構想)
- 神港高校(神戸市立女子商業学校)文化祭

- ### ④ 北九州大里及び関門地区における鈴木商店遺産の活用、市原さん構想との連携
- 「明治日本の産業革命遺産」(官営八幡製鐵所施設等)の世界遺産登録との連動、鈴木商店遺産研究施設の設置、鈴木商店を観光資源として活用

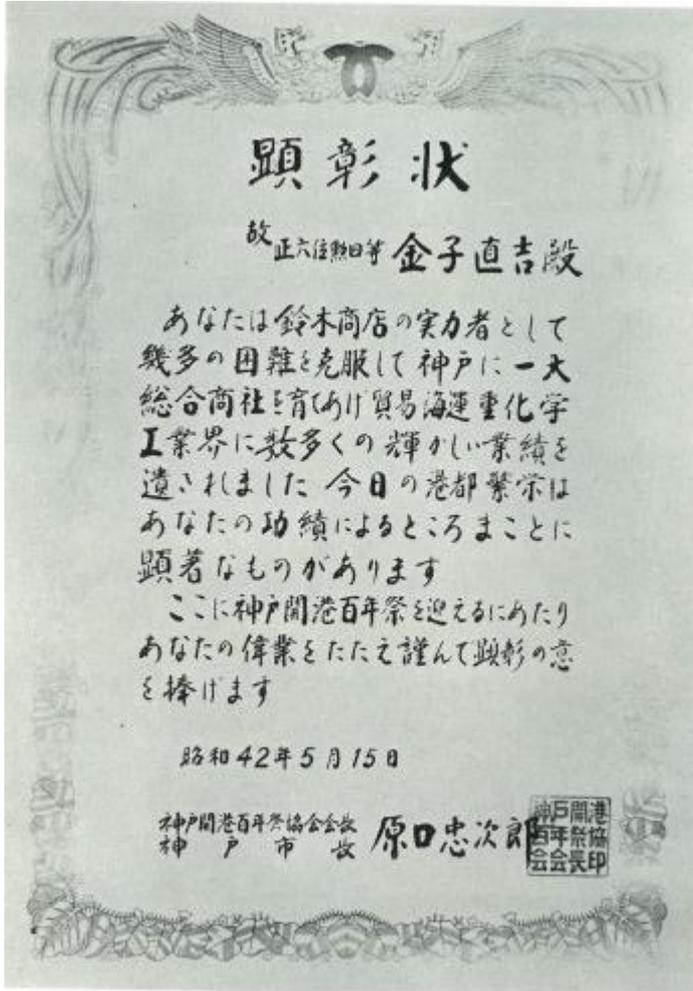
■ 注目すべき年、2017～2018年

- 2017年 神戸開港150年記念事業
＝鈴木商店売上日本一100年

「1917年、売上高15億4,000万円を達成し、
三井物産の10億9,500万円を大きく凌ぎ
日本一の総合商社に」

- 2018年、米騒動・鈴木商店本店焼き打ち100年

■神戸開港150年記念に合わせて



- 昭和42年の神戸開港100年祭にて金子直吉翁は神戸市長から顕彰されている。
- 150年記念行事に合わせて鈴木商店関連モニュメントの設置 第二回シンポジウムの開催が出来ないか？

その他、劇団、マンガ……等



基調講演： 鈴木商店のあゆみを今に活かして

北九州市門司麦酒煉瓦館 館長
鈴木商店記念館 協力者
市原 猛志

■ 自己紹介

- **名前:市原猛志**
1979年生まれ:北九州市八幡
育ち:同若松(の西)
- **産業考古学会理事(2013年度～)**
- **福岡県近代化産業遺産行動指針指導委員**
- **2009年九州大学大学院修了・博士(工学)**
→現在、北九州市門司麦酒煉瓦館館長
九州国際大学客員研究員・非常勤講師



■ 門司麦酒煉瓦館とは？

- 1913年に帝国麦酒門司工場として建設され、2000年までサッポロビール九州工場として稼働を続けた工場施設の事務所。
- 工場閉鎖後、市と複数人の土地所有者によって「大里本町土地区画整理事業」が施行された結果、創業初期の煉瓦造施設群が「門司赤煉瓦プレイス」として保存活用された。
- 門司麦酒煉瓦館は、資料館施設として2005年5月21日に開業(今年開業10周年！)

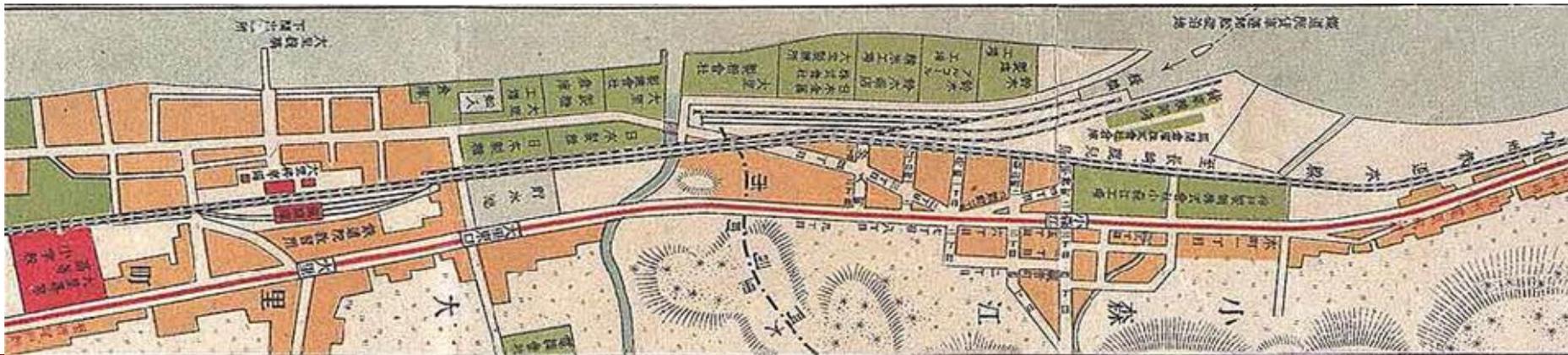
■ 帝国麦酒門司工場→門司赤煉瓦プレイス



- 大里地区:小倉・門司港から5.5kmに位置。
- 古くからある宿場町(街道筋)、独自の発展。
- 明治後期から鈴木商店による工場進出が相次ぐ。

■ 鈴木商店による関門大工場群設立

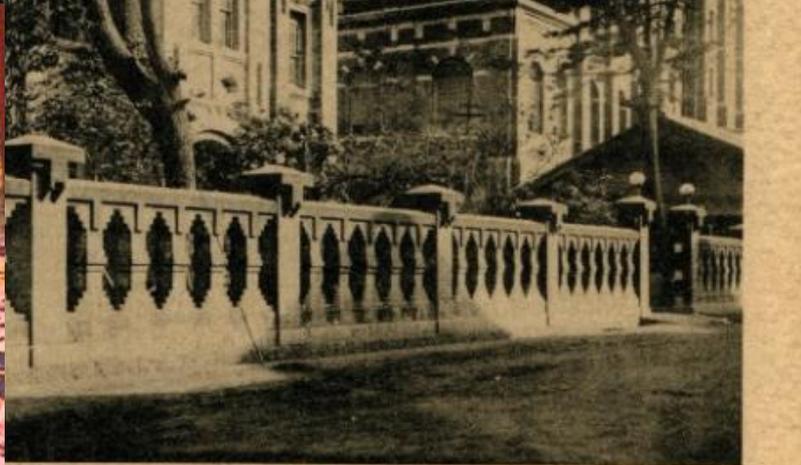
- 1904年 大里倉庫(岡野バルブ工場内に倉庫現存)
- 1911年 大里製粉所(ニッカ工場内に倉庫現存)
- 1912年 帝国麦酒(現位置。醸造場事務所等現存)
- 1914年 大里酒精製造所(ニッカ工場内施設現存)
- 同年 日本金属彦島製煉所(現彦島製錬・煉瓦造施設現存)
- 1916年 日本冶金大里精錬所(現・東邦金属)
- 1917年 神戸製鋼所門司工場(変電所・工場施設現存)
- 1918年 彦島坭堦(現日新リフラテック・よね星現存)
- 1922年 クロード式窒素工業(現下関三井化学・変電所等現存)



■ 鈴木商店が遺した工場群



■ 帝国麦酒門司工場



AS 社会式株ルービ櫻 (景風司門)

■ 帝国麦酒門司工場

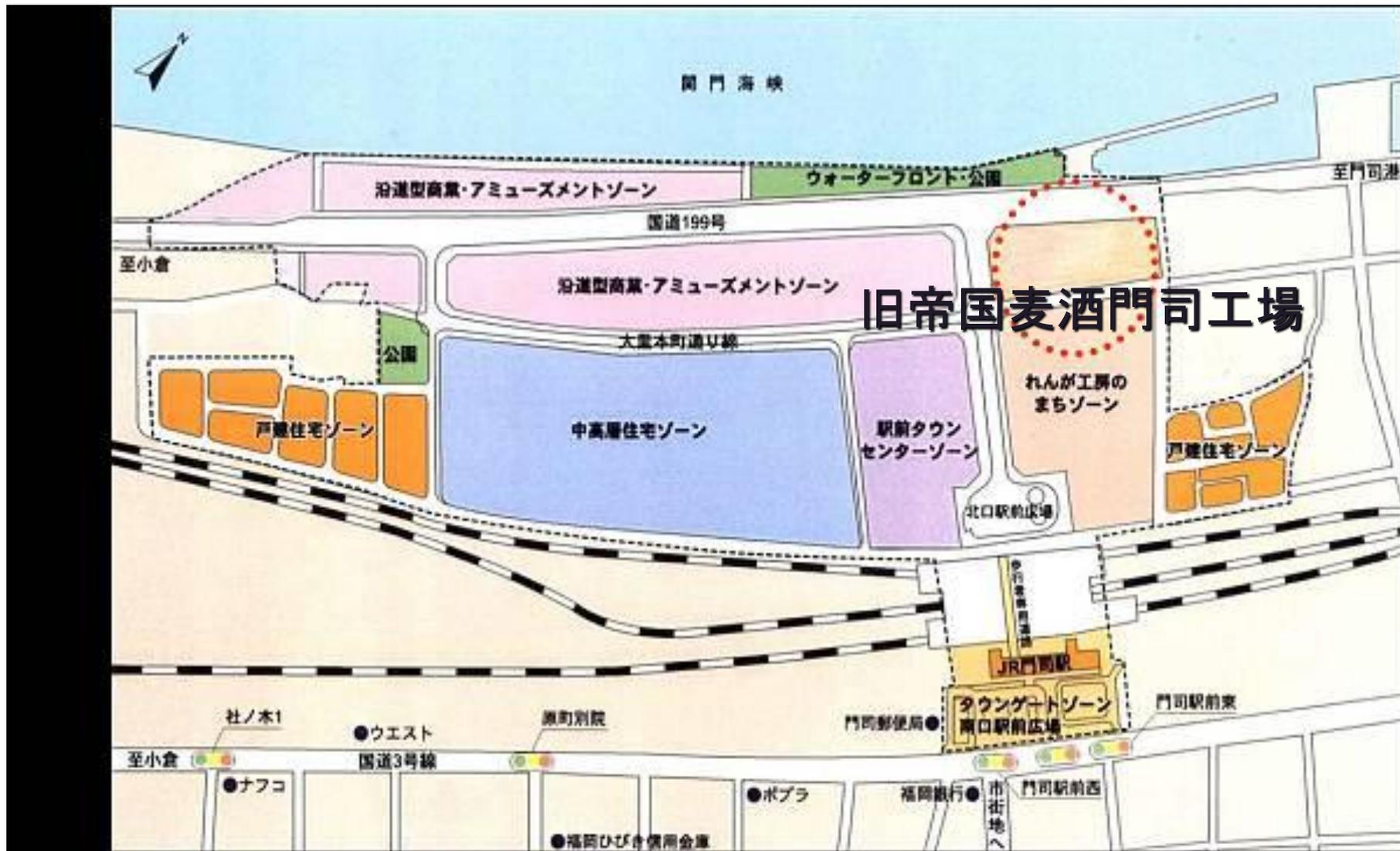


■ 大里本町土地区画整理事業

● 大里本町土地区画整理事業の概要

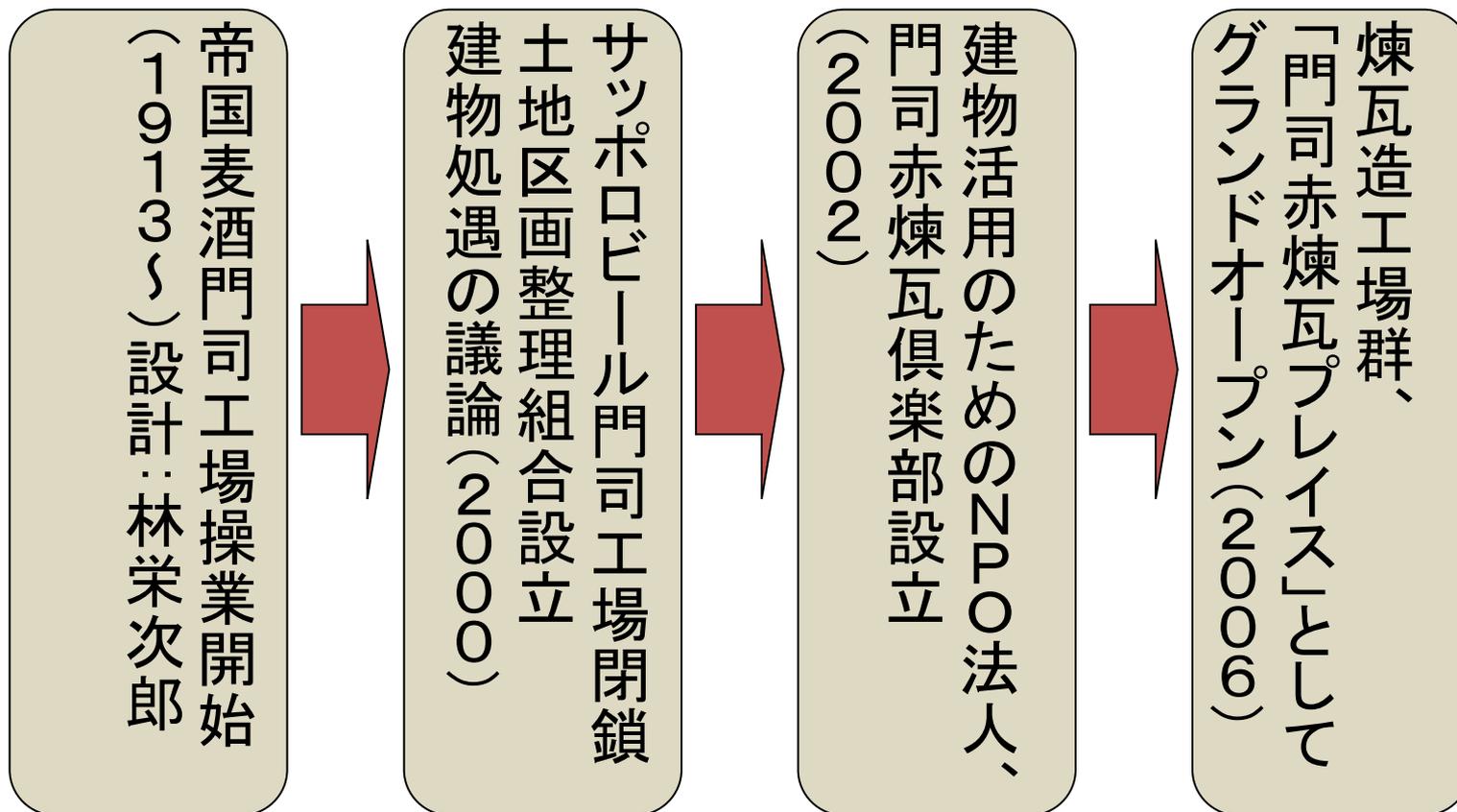
- ✓ 事業主体.....北九州市大里本町土地区画整理組合
(組合員13名)
- ✓ 事業年度.....2000年5月～2007年3月
(清算事務期間1年を含む)
- ✓ 施行面積.....約22.1ヘクタール
- ✓ 総事業費.....146億5800万円
- ✓ 計画人口.....約1200人(500戸)

■ 大里本町土地区画整理事業



■ 大里本町土地区画整理事業

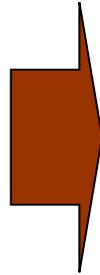
● 建物の経緯（区画整理事業関係を中心に）



■ 大里本町土地区画整理事業



■ 大里本町土地地区画整理事業



■ 大里本町土地区画整理事業

- 敷地内の4建造物は、サッポロビールによる施設改修(2005)が行われた後、上屋をNPO法人及び北九州市に寄贈している。
- 2006年より事務所棟を除く3棟が、2013年からは門司麦酒煉瓦館を含めたすべての建物が特定非営利活動法人(NPO法人)門司赤煉瓦倶楽部の管理となった。

■ 大里本町土地区画整理事業

- 区画整理事業終了時点より土地所有・施設管理とが民間・自治体・NPO法人の三者で複雑に入り組み、施設活用にハードルが生じている。

表 門司赤煉瓦プレイス産業遺産群の土地及び建物所有関係

施設旧名	土地所有	建物・上屋所有	備考
事務所棟	北九州市	北九州市	恵比寿ガーデンプレイス(当時)より寄贈。
醸造棟・ 組合棟	サッポロビール不動産	NPO法人門司赤煉瓦倶楽部	土地は15年の定期借地契約(2020年まで)
倉庫棟	北九州市	NPO法人門司赤煉瓦倶楽部	
(駐車場)	サッポロビール不動産	北九州市	

■ 大里本町土地区画整理事業

- 門司赤煉瓦プレイス交流人口...
約10,000人→200,000人
- 門司麦酒煉瓦館入場客...
約3,000人→25,000人(過去最高客数)
- 赤煉瓦交流館...
6,460人→約40,000人
(ともに2006年度→2014年度)

■ 門司赤煉瓦プレイスの運営と課題

- 施設内の5テナント(ビュッフェレストラン・洋食居酒屋・カフェバー・写真館・資料館・管理法人)協議の場として、月一回門司赤煉瓦プレイス連絡協議会という連絡会議が行われている。
- 地区単位を超える大きなイベントに関しては、NPO事務局などが対外的な窓口として関わっており、地域との結びつきを深めている。

■ 門司赤煉瓦プレイスの運営と課題

- 選挙投票所や集会など公民館的機能を担うほか、定期的な写真展や企画展などを行い、施設に対するカラーを確立することによって、固定ファンを増やそうという試みを行っている。



■ 門司赤煉瓦プレイスの運営と課題



■ 門司麦酒煉瓦館の管理と課題

- 集客方法.....定期企画展の積極的な開催が代表だが、同館は専門の企画展示室を有しない。
- 20㎡程度の「市民ギャラリー」を活用。年間利用計21回（161日）、企画展として8回（85日）。(ともに平成25年度)



■ まとめに替えて

- 現状として、産業遺産の運用に当たっては、その商業的な価値(≒採算性)に重点が置かれている。(例:集客数と売上)
- 産業遺産が持つ歴史的背景が持つメリットをどのように行政及び関係会社(サッポロビール)にどのように明示できるかが今後の運用に当たり非常に重要。
- 「明治日本の産業革命遺産」(官営八幡製鐵所施設等)の世界遺産登録は、鈴木商店関連産業遺産の活用にとって大きな追い風！ →これを活かして鈴木商店の深遠な歴史を地域に伝えていきたい。

■ 今後の活動について(希望)

- 北九州を中心とした鈴木商店関連産業遺産を研究する施設を世界遺産総合センター設置(2018年予定・候補地未定)に併せて誘致する運動を！

案)

- ① 下関や佐賀(佐賀紡績)、筑豊(帝国炭業)との協同・連携によるシンポジウム開催
(門司・直方市(直方)との連携、MICE優遇策の活用)

■ 今後の活動について(希望)

- ② 門司麦酒煉瓦館の鈴木商店専門展示スペース設置・
関連グッズ作成を！
(門司赤煉瓦プレイス2020年問題(定期借地)対策活用支援)

- ③ 世界遺産連携バス・連絡船運行による製鐵所一関門
地区産業遺産ツアーの設定
(観光資源としての鈴木商店遺産のさらなる活用)



パネルディスカッション： 鈴木商店の再評価に向けて

■ パネリストのご紹介

- 相生いきいきネット 松本 恵司
- 高知県庁 西森 文明
- 北海道羽幌町役場 三浦 義之
- 神戸大学経済経営研究所 藤村 聡
- 門司麦酒煉瓦館 市原 猛志



鈴木商店が育てた相生の街 ～播磨造船とともに

相生いきいきねっと
鈴木商店記念館 協力者
松本 恵司

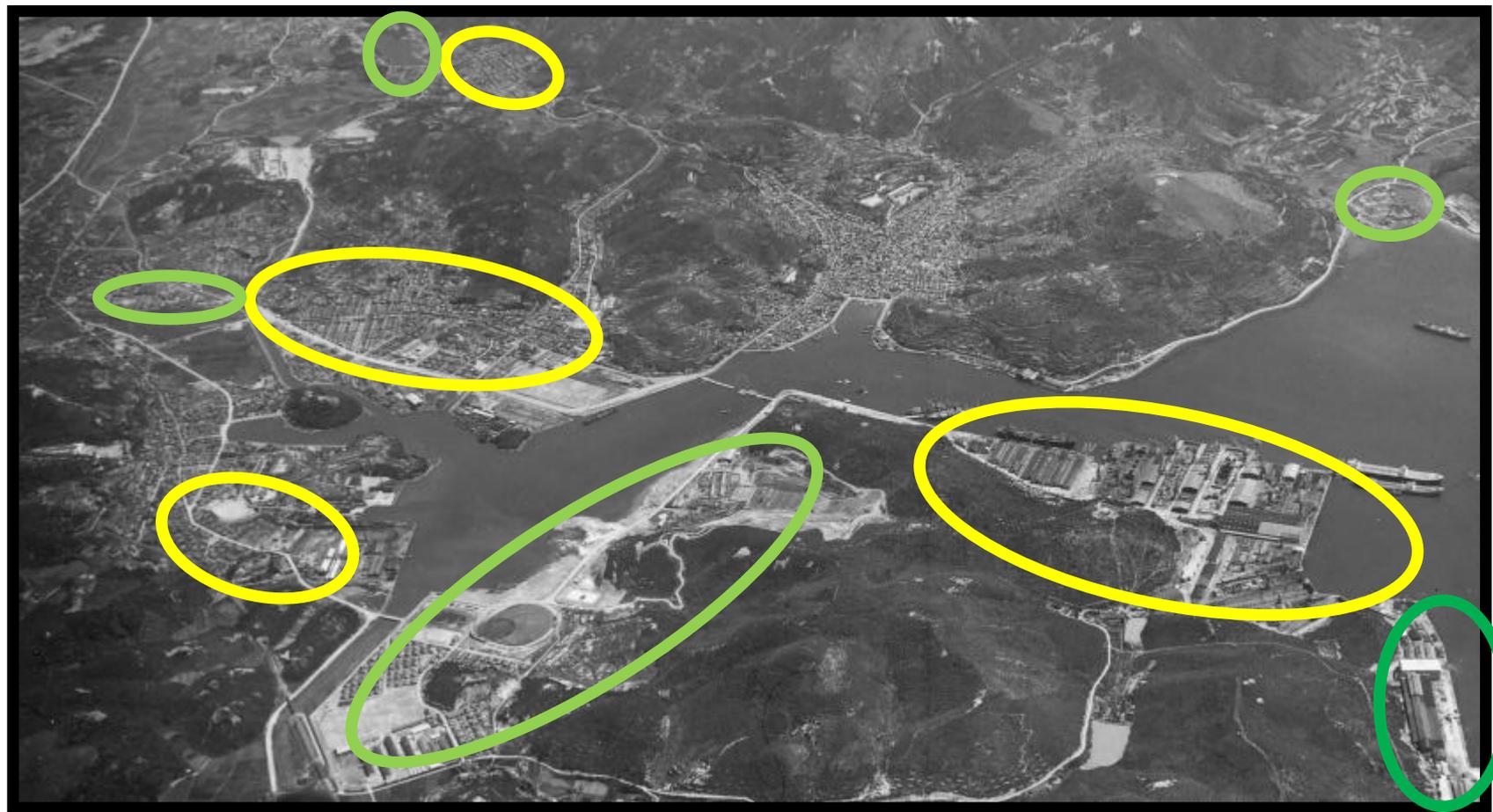
■ 相生と鈴木商店

- 鈴木商店が1916年に相生の造船所を買収。従業員200名規模から6,000人規模の大造船所に。昭和37年に世界一の建造量を記録
- 住宅街、商店街、病院、幼稚園など鈴木商店若手（例：北村徳太郎）が町づくりを担う
- 鈴木商店時代の建物が多く残る。ペーロン祭りも鈴木から。



■ 1960年頃の相生

- 黄色は鈴木商店が建設、緑は戦時中から戦後に播磨造船所が建設



■ 大正9年頃の播磨造船所

- 船のファンネルマークは鈴木商店の米印



■現在のIHI相生

●赤煉瓦倉庫と子どもたちのペーロン体験乗船



■ 大正8年済美幼稚園卒園式

- 鈴木商店の若手社員(北村徳太郎・林彦一)はロシア革命に対抗して新しい資本主義を模索した



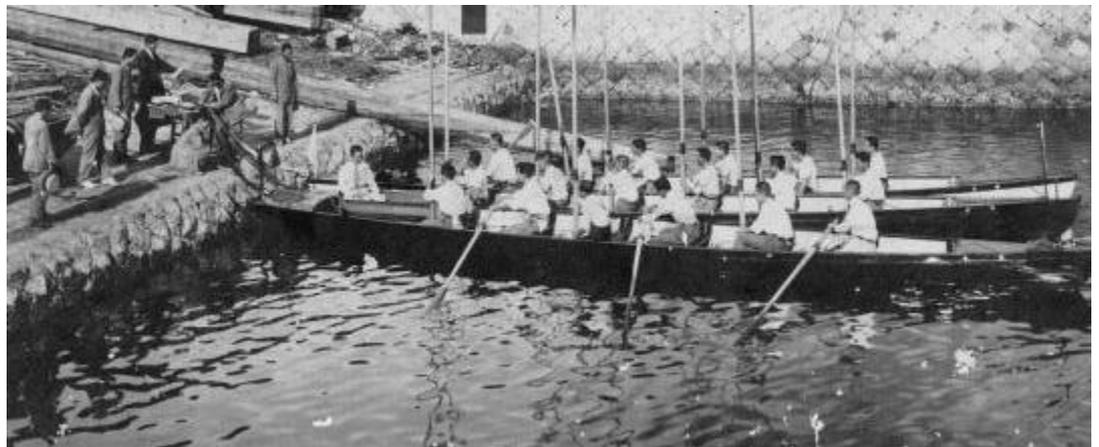
■ 相生の医療を担っている播磨病院

- 初代 大正
- 二代 1958
- 現行 2010



■ 鈴木商店時代の社員

● 中堅職員は野球・庭球・短艇を楽しんだ



■ 今後の相生における活動

- 来年2016年は鈴木商店が相生に進出してから100周年
- 相生市立歴史民俗資料館で、今年10月に「唐端清太郎と相生の発展」の特別展を開催予定
- 来年は鈴木商店の相生進出100周年を記念した企画をたてたい
- 播磨造船所進水記念絵葉書の写真集を今年2月に発行
- 引き続き「鈴木商店とともに近代化していく相生」を写した写真集を編集予定



金子直吉生誕の地、土佐・高知

鈴木商店記念館編集委員

高知県庁職員

西森 文明

■ 高知と鈴木商店

- 高知県仁淀川町は、金子直吉生誕の地。金子直吉資料館あり。高知市農人町の質屋で働く「わしは質屋大学出身や」
- 鈴木商店には高知商業出身者が多数入店。土佐派が存在。
- 坂本龍馬の生家は金子直吉が買取り、母親ら親族が居住
- 2011年、筆山にて金子直吉の顕彰碑が建立された。



■ 今後の地域における活動

- 2016年は金子直吉生誕150周年にあたる、具体的な案はないものの、何かしらのイベントを鈴木商店記念館と連携して何かできないか？
- 高知県内における鈴木商店愛好家の輪を広げたい
ローターリークラブ 吉原さん
「大番頭金子直吉」著者の鍋島(元日経新聞記者)さん





金子直吉がお家再興の夢を 賭けた羽幌炭砦

北海道羽幌町役場
財務課 課長 三浦 義之

■ 羽幌と鈴木商店

- 1918年、鈴木絶頂期に北海道の羽幌炭砒鉍区の権益取得
- 破たん後、金子直吉がお家再興の夢を賭けて羽幌炭砒を開発。鈴木時代の精鋭を引連れて開発に着手。1940年開杭
- 戦後に連続して年産100万トンを産出し、日本の高度経済成長に必要なエネルギーを供給。1970年に閉山



■ 鈴木商店ゆかりの名が街に刻まれている



辰巳屋旅館



太陽小学校

■ 鈴木商店ゆかりの名が残っていた。



金子町



辰巳橋

■ 今後の地域における活動

- 羽幌炭砒閉山45周年記念大同窓会の開催
(2015年9月27-28日)

- シンポジウムの開催。太陽鉱工、鈴木商店記念館、町長とのパネルディスカッション

- 鈴木商店記念館羽幌特集を記念誌として発行

- ヤマめぐり

- 今後鈴木商店・羽幌炭砒を観光資源に



鈴木商店の頭脳輩出拠点 ～神戸高商(現・神戸大学)～

神戸大学 経済経営研究所
准教授(博士)

藤村 聡

■ 鈴木商店と神戸高商

- 鈴木商店の高畑誠一、永井幸太郎らを輩出。金子直吉と創始者水島校長が昵懇の仲
- 高商の多くの卒業生が鈴木商店に入店。土佐派に対して高商派とよばれる派閥が生まれ、鈴木商店近代化を試みる。
- かつて高商内に、鈴木商店も寄付した講堂あり。戦争で焼失。
- 神戸大学ではかつて桂教授が「総合商社の源流 鈴木商店」を執筆。神戸大学図書館には鈴木商店の関連資料もあり



■ 今後の試み

- 鈴木商店記念館からの委託研究、その成果は記念館で公開
- 神戸大学に「鈴木商店研究会」を設置、全国の企業史研究者と連携 = 委託研究の範囲を拡大して多角的に研究を進める
 - ・関連資料の収集 = 鈴木商店を「復元」
 - ・研究テーマの一例
「学校一覧」による各地高商生の入社状況
- シンポジウムの開催を検討中
特に「2018 鈴木商店本店焼き打ち・米騒動 100周年」



秘蔵資料の紹介

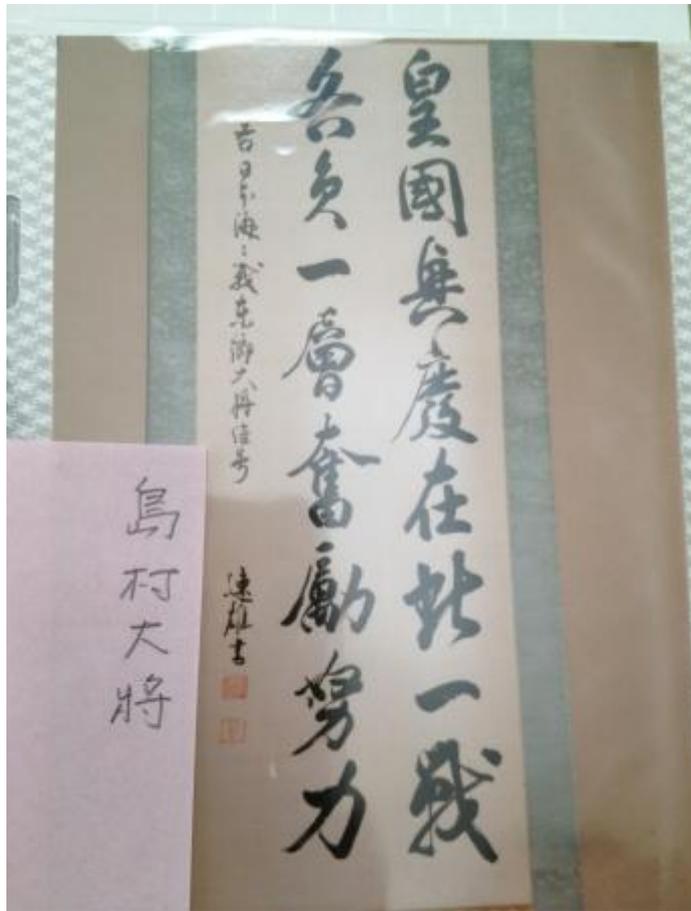
■ 後藤新平直筆の掛け軸

金子直吉の右腕、西岡貞太郎のご子孫が所蔵



■ 島村速雄の掛け軸 皇国の興廃……

西岡貞太郎のご子孫が所蔵。金子直吉が島村速雄に軍艦に乗せてほしいとお願いしたエピソードは本当だった？

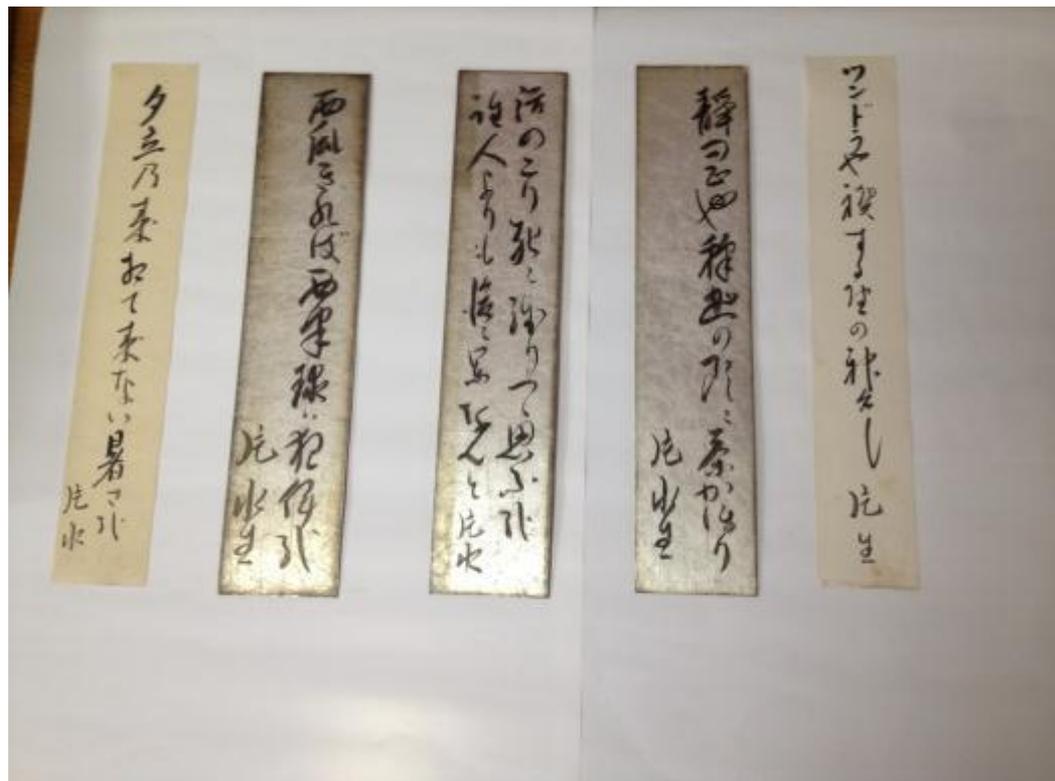
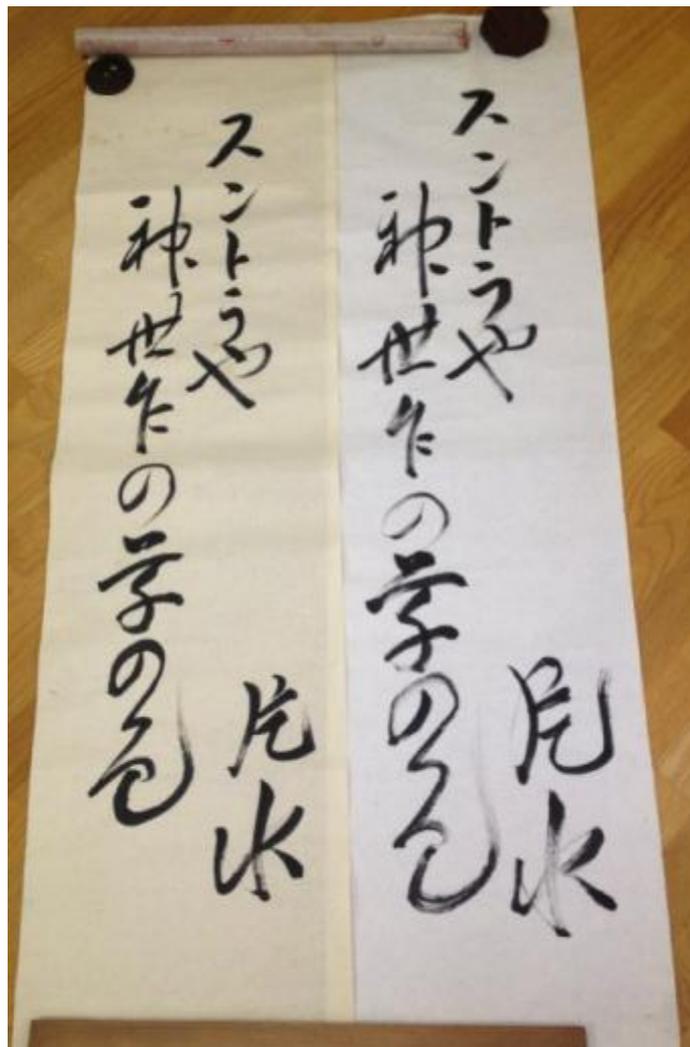


■ 若き日の鈴木よね

鈴木商店関係者縁者の泉様、所蔵



■ 金子直吉直筆の掛け軸他



■ 鈴木よね葬儀の様子

鈴木商店記念館監修の大塚融さん提供

閉会のご挨拶

太陽鋳工株式会社
代表取締役社長
鈴木 一誠